

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年4月26日(2018.4.26)

【公開番号】特開2016-171861(P2016-171861A)

【公開日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2016-057

【出願番号】特願2015-52696(P2015-52696)

【国際特許分類】

A 4 7 J 37/06 (2006.01)

F 2 4 C 1/00 (2006.01)

【F I】

A 4 7 J 37/06 3 7 1

F 2 4 C 1/00 3 2 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月15日(2018.3.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

箱状の筐体と、

この筐体内に配置され、調理対象物を収容する調理庫と

上記調理庫内に配置されたヒータと、

上記調理庫内に配置された水蒸気発生器と、

上記筐体に形成され、上記水蒸気発生器に水を供給する水供給部と、

上記調理庫に隣接又は壁面に沿って形成され、上記水供給部から上記水蒸気発生器に上記水を供給する水案内路とを備えていることを特徴とする加熱調理装置。

【請求項 2】

上記水蒸気発生器は、ボイラ容器と、このボイラ容器を加熱するボイラヒータとを備えていることを特徴とする請求項 1 に記載の加熱調理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

箱状の筐体と、この筐体内に配置され、調理対象物を収容する調理庫と、上記調理庫内に配置されたヒータと、上記調理庫内に配置された水蒸気発生器と、上記筐体に形成され、上記水蒸気発生器に水を供給する水供給部と、上記調理庫に隣接又は壁面に沿って形成され、上記水供給部から上記水蒸気発生器に上記水を供給する水案内路とを備えている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

なお、本発明は前記実施の形態に限定されるものではない。例えば、上述した例では、水蒸気発生器としてボイラ４０を用いたが、超音波発生装置を用いて水蒸気を発生させてもよい。また、水供給部として水受皿２１を示したが、調理停止後に水供給を停止できる水タンクを用いても良い。さらに、ヒータ部３０の構成等は、調理庫２０の大きさ・形状、調理対象物の種類等に応じて適宜変更してもよい。この他、本発明の要旨を逸脱しない範囲で種々変形実施可能であるのは勿論である。以下に、本願出願の当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

〔１〕箱状の筐体と、

この筐体内に配置され、調理対象物を収容する調理庫と

上記調理庫内に配置されたヒータと、

上記調理庫内に配置された水蒸気発生器と、

上記筐体に形成され、上記水蒸気発生器に水を供給する水供給部と、

上記調理庫の壁面に沿って形成され、上記水供給部から上記水蒸気発生器に上記水を供給する水案内路とを備えている加熱調理装置。

〔２〕上記水蒸気発生器は、ボイラ容器と、このボイラ容器を加熱するボイラヒータとを備えている〔１〕に記載の加熱調理装置。